



とし年をとるとはげるのはなぜ

かみの毛がのびるのは

かみの毛は、頭の皮ふの中にある、毛の根元の毛根でつくられています。毛根の先には毛乳頭というものがあり、この部分で、かみの毛はいつも少しずつつくられているため、だんだんおしあげられてのびてくるのです。年をとって頭がはげるのは、この毛根が死んでしまうために、毛がつかられなくなってしまうからです。

毛根が死んでしまうのは

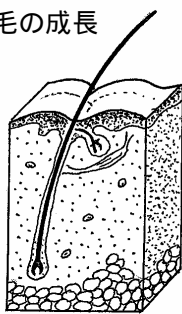
頭だけでなく、体に生えているほかの毛も、全部毛根でつくられています。たとえ毛がぬけても、毛根が生きていれば、すぐ新しい毛が生えてくるようになっているのです。

ところが、毛根をつくっている細胞が死んでしまうと、毛はもう二度と生えてきません。

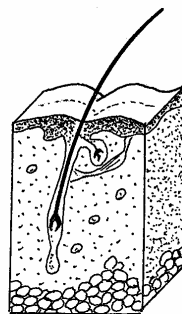
しかし、なぜその細胞が死んでしまうかについては、まだよくわかっていないのです。

年をとるとはげるのは、頭の皮ふにやわらかさがたりなくなり、皮ふが血管をおしつぶしてしまうため、毛根の根元まで血液が行かなくなり、酸素や栄養がいきわたらなくなるため、細胞が死んでしまうのだといわれていますが、これも、まだはっきりとはわかっていないことなのです。（監修・保志 宏）

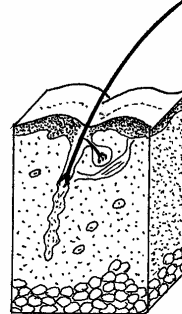
かみの毛の成長



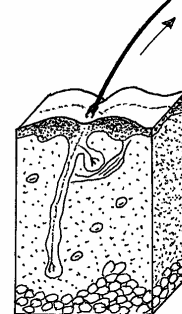
さかんに成長している



成長が終わりかけている



成長が止まる



毛がぬける

